

# お 知 ら せ

平成23年2月16日  
午 後 5時20分  
大分県農林水産部

## 死亡野鳥（アオサギ）の高病原性鳥インフルエンザの疑いについて

平成23年2月15日に大分市上戸次で死亡した野鳥（アオサギー1羽）が発見され、本日、県の検査において高病原性鳥インフルエンザの疑いが確認されました。

経緯等は以下のとおりです。

※毒性の強弱は未確定

### 記

#### 1 経 緯

- 2月15日・ 住民から死亡した野鳥（アオサギー1羽）発見の連絡あり
- 2月16日・ 大分市保健所職員が収容（2月15日）し、大分県衛生環境研究センターに送付
  - ・ 大分県衛生環境研究センターにおいて遺伝子検査を実施した結果、H5亜型陽性であることを確認
  - ・ 本日、検体を鳥取大学に送付予定
  - ・ 発見場所から半径10Km圏内に存在する養鶏農家（8戸）に対して、電話による確認の結果、異常がないことを確認

#### 2 今後の対応

- ・ 県では、鳥取大学の確定検査の結果が出るまで、念のため、発見場所から半径10Km圏内の地域について野鳥の監視を強化します。
- ・ 家きんや卵などの移動制限はありません。

#### 【問い合わせ先】

森との共生推進室 安東、玉田  
電話：097-506-3870、3876

# 監視強化区域(10km)

H23.2.16

